



## ニンジンの育て方 ～発芽を万全に～

ニンジン(人参)はセリ科の野菜で、キャロットの名前の由来となるほどカロテンの含量が多く、葉も栄養満点です。また豊富に含まれるカリウムは高血圧の予防、食物繊維は便秘解消に役立ちます。

ニンジン(人参)の夏まき作型は、これからがまき時です。秋の適温条件(18～20℃)で育つため作りやすく、中秋から冬にかけて長期間収穫出来るので、お奨めの野菜です(表1)。

この作型の栽培ポイントは発芽です!! ニンジン(人参)の発芽温度は15～25℃で7～10日(約1週間)で発芽します。適期の種まきと灌水で発芽をそろえ、初期の生育を順調に進めることが大切なポイントです。

表1 栽培歴

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
播種												
収穫												

### 1. 畑の準備

前作はなるべく早めに片付け、残渣を残さないようきれいにしましょう。種まきの2週間以上前に完熟した細かな堆肥と油かすなどの有機肥料、少量の化成肥料を全面にまき、深さ20cmぐらいいよく耕します。元肥はやや控えめにし、本格的な施肥は盛んに育ち始めてから行います。

畝幅を70～80cmのベッドを作り、条間を20cmとし、深さ1～2cmのまき溝を2条作ります。まき溝は支柱を横にして使うと真っすぐ同じ深さで作れます(図1)。

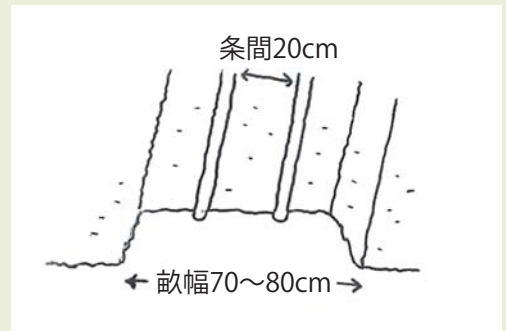


図1 畑の準備

### 2. 種まき

畑が乾いているときは、まき溝にたっぷり灌水します。まき溝から溢れないように注意しましょう。まき溝に1cm間隔で条まきし、覆土は種がやっと見えなくなる程度(5mmぐらい)薄めにします。横にした支柱等でやさしくおさえます。さらにもみ殻や細かく切った藁で薄く覆って乾燥や降雨による土の跳ね上げを防ぎましょう。発芽までに乾燥したら灌水し、乾きすぎないように注意します。

### 3. 間引き・追肥・土寄せ

発芽ぞろいし、本葉2～3枚の頃、1回目の間引きをします。幼苗の時は葉が互いに触れ合う程度の密植状態が良く、これを「共育ち」と言います。こうして夏の高温や乾燥に耐えることができます。初期は軟弱なのである程度密にして共育ちさせましょう。本葉5～6枚の時に2回目の間引きをし、株間10～12cmにします。2回目の間引き後は1㎡当たり化成肥料50gを追肥をし、株元に土寄せして株をしっかりと固定します。雑草が生えやすい時期のため、遅れずに除草を行いましょ。収穫期近くには、根の肩の部分にさらに土寄せし、肩が緑色になるのを防ぎます(図2)。

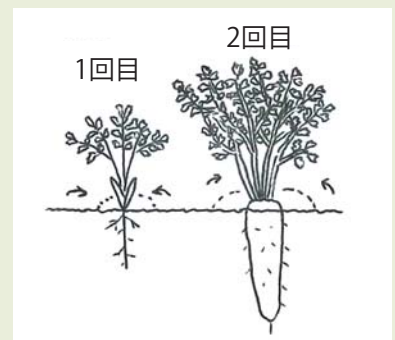


図2 土寄せ

### 4. 収穫

根の直径が4～5cmになったものから収穫します。年内は肥大が続くため、太り過ぎて裂根しないうちに収穫します。越冬させる場合はさらに土寄せしておけば、葉が枯れた後でも適宜収穫できます。